

佐野市景況レポート

平成28年10～12月期



佐野商工会議所

〒327-0027 佐野市大和町 2687-1

TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517

HP <http://www.sanocci.or.jp>

E-mail s-cci@sanocci.or.jp

調査協力：佐野市あそ商工会

佐野市景況調査報告

(平成28年10～12月期)

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業290社を対象に調査し、191社(回答率65.86%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。

《 概 況 》

パラダイムシフト

事業所の景況コメントにあるように、先行きの不透明感は増すばかりです。先行きの不透明感が増え続けることは、現状のパラダイム(「モノの見方やとらえ方」)では予測・解決が困難であり、今までと異なったパラダイムが求められていると言えます。今後の超少子高齢化社会においては、ジュースが入っているコップを見て、「もう半分しか残っていないのか」と嘆く悲観的なパラダイムは捨てて、「まだ半分も残っているぞ」と思う楽観的なパラダイムに転換した方が、仕事も人生も楽しくなります。

真岡市にある(有)真京精機は、全従業員40名の約半数が障がい者の町工場です。障がい者は健常者と同様に、マシニングセンターを使い自動車部品等精密部品の切削加工をしています。設立当初、従業員の確保が困難なことから近所に住む障がい者を試験的に雇用したことが始まりです。当初、障がい者の業務習得は困難を伴ったが、障がいの状態に応じ根気強く指導することにより健常者と同様の仕事ができるようになりました。今では、障がい者用の工作機・治具の開発・導入、寮の新設などの受け入れ体制を整え、障がい者を多数雇用し、仕事と生きがいを与えることができるまでになりました。当社のように「障がい者や高齢者は仕事ができない」から「障がい者や高齢者でこそ仕事ができる」へのパラダイムシフトが必要となるでしょう。

佐野市景気調査(平成28年10～12月期実績)をみると、全業種業況DI指数は▲17.0、前期(7～9月期)比+2.5ポイントの業況改善となった。利益DI指数は▲27.2(前期比+1.8)、売上高DI指数は▲19.4(前期比+6.3)、販売価格DI指数は▲3.4(前期比+6.1)、仕入価格DI指数は14.8(前期比+7.4)となった。つまり、前期に比べ、原料・仕入価格の上昇はあったが、販売価格の上昇と売上高の増加により利益と業況感は改善した。一方、労働力DI指数は▲19.3(前期比▲4.2)と、労働力の不足感はさらに高まった。

今後3ヶ月間(平成29年1～3月期見通し)をみると、全業種業況DI指数は▲11.3(前期比▲0.4)と、今後3か月間の業況予想は前期予想並みであるが、10～12月期実績▲17.0に比べ改善を予想している。予想売上高DI指数は▲8.7(前期比+1.5)、予想仕入価格DI指数は13.9(前期比+9.1)、販売価格DI指数は▲3.9(前期比+3.4)である。前期予想に比べ販売価格の増加等による売上高の微増と昨年11月からの急激な円安等による仕入価格の大幅上昇を予想している。

事業所の景況コメントには、「人手不足」「円安等による原材料上昇」「先行き不透明感」等のキーワードが多く挙げられており、見通しの明るい景況感とは言いにくい。

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清(中小企業診断士)

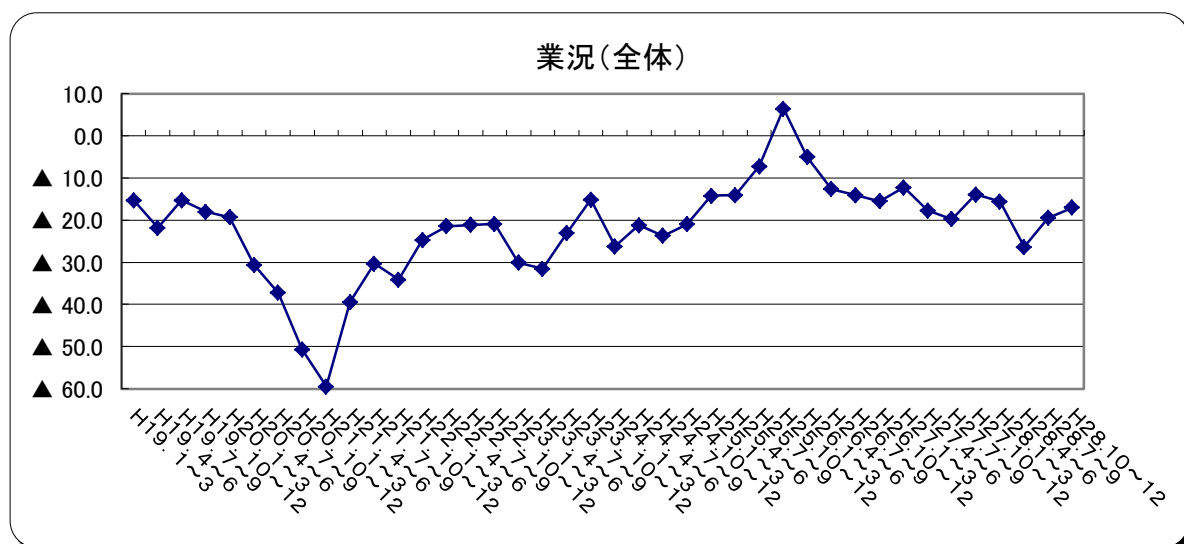
☆ 業況について（平成 28 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲17.0、前期比 2.5 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①食品製造業 14.3 ポイント、②その他の製造業及び卸売業 0.0 ポイント、④化学・プラスチック製造業▲4.1 ポイント、⑤建設業▲9.1 ポイント

良い
↑
悪い



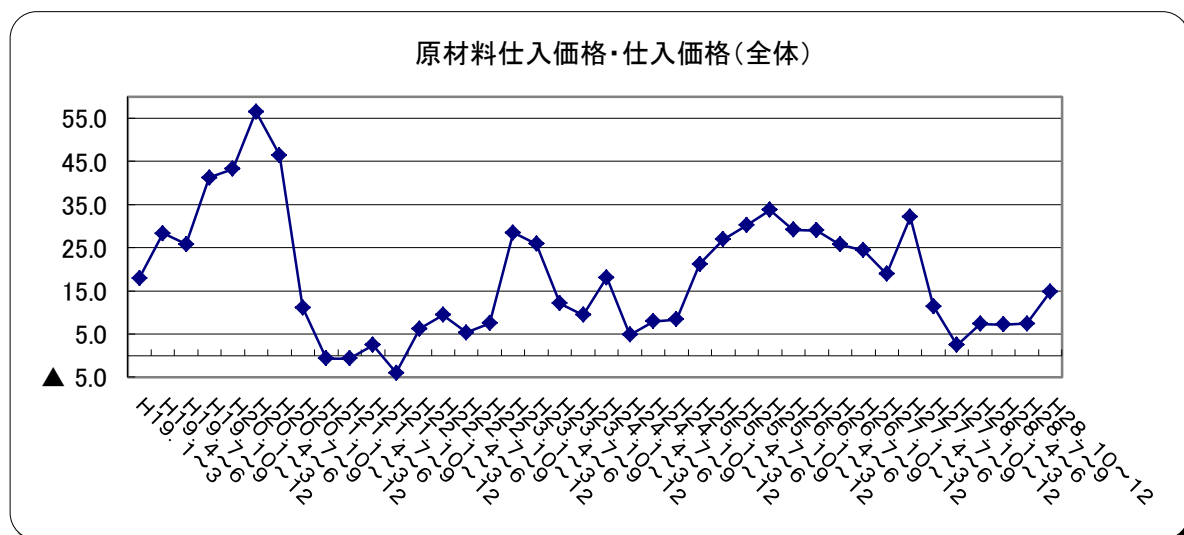
☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（平成 28 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数 14.8、前期比 7.4 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①繊維品製造業 38.5 ポイント、②小売業（飲・食料品）31.0 ポイント、③飲食店 22.0 ポイント、④その他の小売業（大型店含む）16.7 ポイント、⑤食品製造業及び機械・金属製造業 14.3 ポイント

上昇
↑
下落



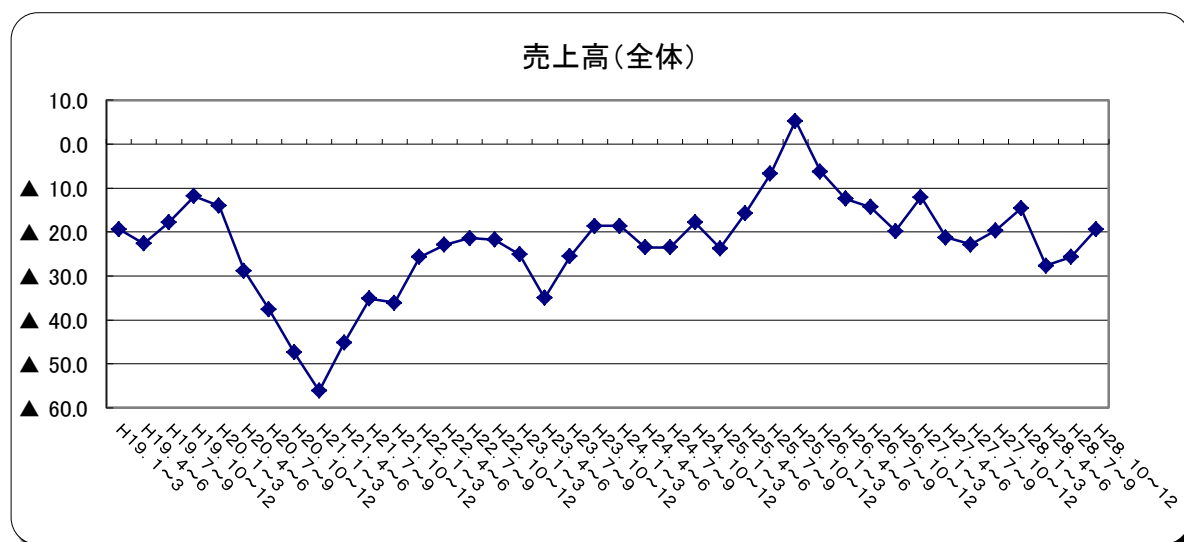
☆ 売上高について（平成 28 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲19.4、前期比 6.3 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①卸売業 12.0 ポイント、②食品製造業 4.8 ポイント、③化学・プラスチック製造業 4.2 ポイント、④建設業 0.0 ポイント、⑤飲食店▲7.7 ポイント

増加
減少



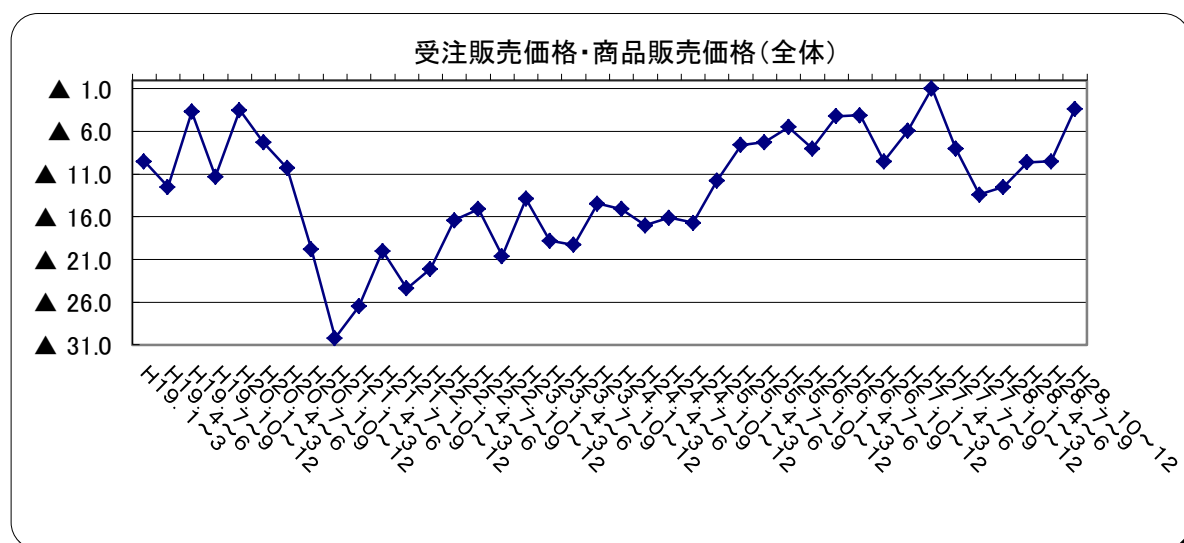
☆ 受注販売価格・商品販売価格について（平成 28 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲3.4、前期比 6.1 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①小売業（飲・食料品）9.7 ポイント、②食品製造業 4.5 ポイント、⑤建設業及び卸売業、その他小売業（大型店含む）、飲食店 0.0 ポイント

上昇
下落



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（平成 28 年 10～12 月期実績）

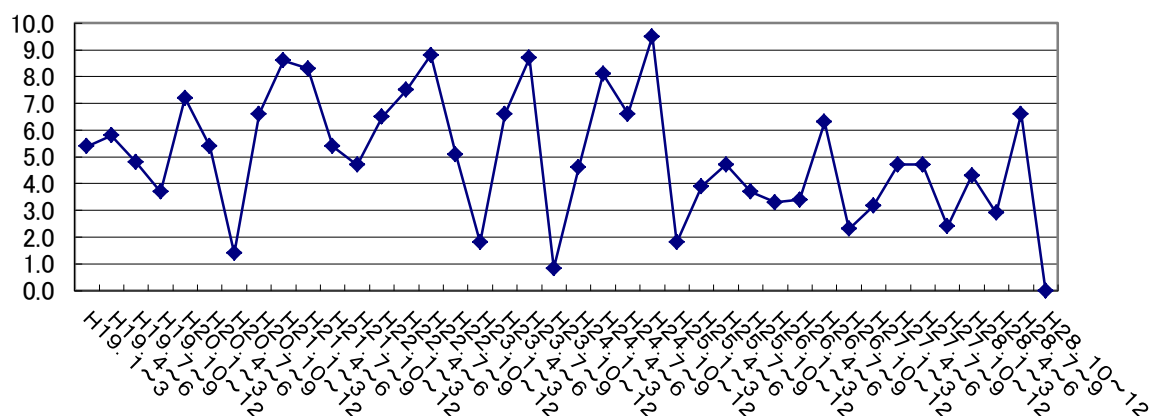
全業種 DI 指数 0.0、前期比 6.6 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①その他の製造業 21.4 ポイント、②小売業（飲・食料品）20.0 ポイント、③繊維品製造業 7.3 ポイント、④機械・金属製造業 3.6 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業及び卸売業 0.0 ポイント

過
大
↑
↓
不
足

製品（材料）・商品在庫（全体）



☆ 利益状況について（平成 28 年 10～12 月期実績）

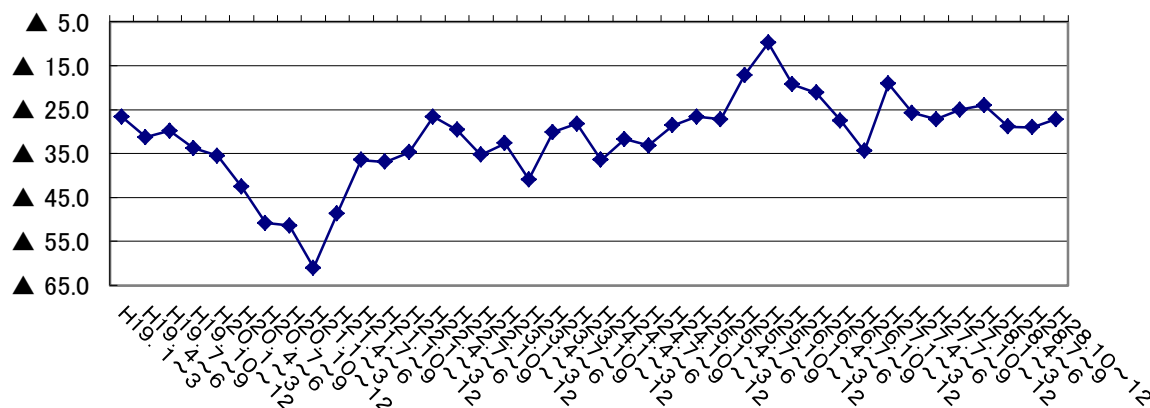
全業種 DI 指数 ▲27.2、前期比 1.8 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①その他製造業及び卸売業 0.0 ポイント、③化学・プラスチック製造業 ▲4.1 ポイント、④食品製造業 ▲9.4 ポイント、⑤建設業 ▲18.8 ポイント

増
加
↑
↓
減
少

利益状況（全体）



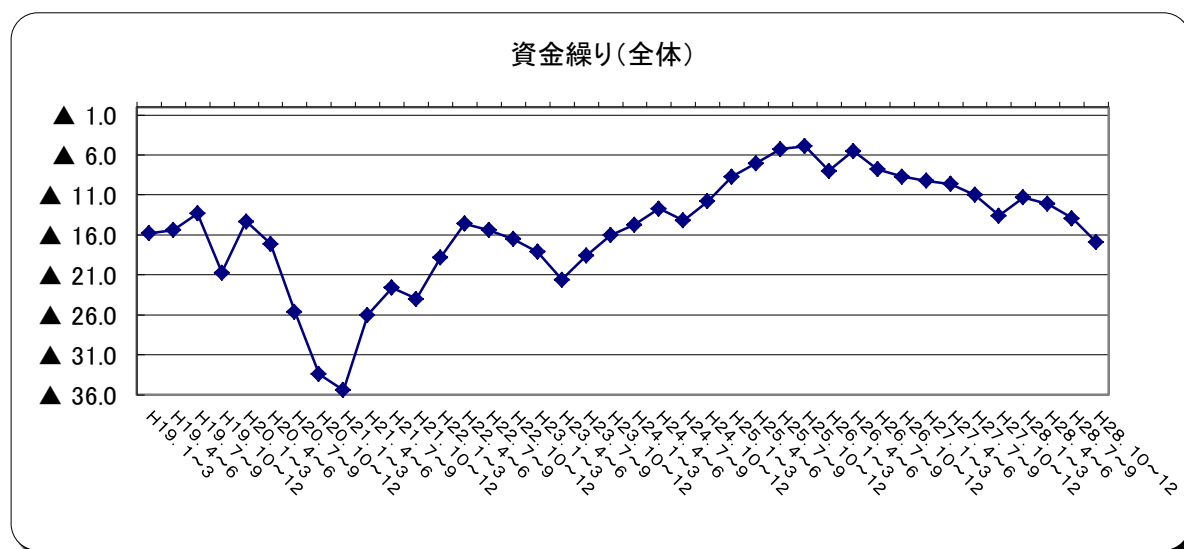
☆ 資金繰りについて（平成 28 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲16.9、前期比 3.0 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①卸売業 11.1 ポイント、②その他の製造業 10.3 ポイント、③繊維品製造業 7.3 ポイント、④食品製造業▲4.8 ポイント、⑤機械・金属製造業▲11.1 ポイント

楽
↑
↓
苦しい



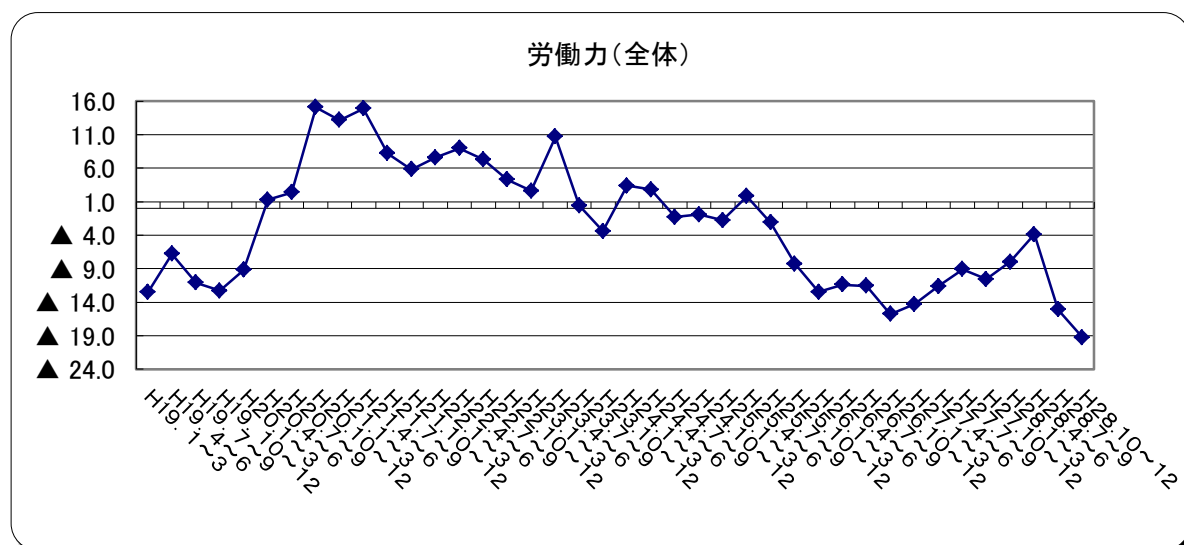
☆ 労働力について（平成 28 年 10～12 月期実績）

全業種 DI 指数▲19.3、前期比 4.2 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①その他の製造業及び小売業（飲・食料品）0.0 ポイント、③飲食店▲7.0 ポイント、④卸売業▲12.0 ポイント、⑤繊維品製造業▲14.3 ポイント

過剰
↑
↓
不足

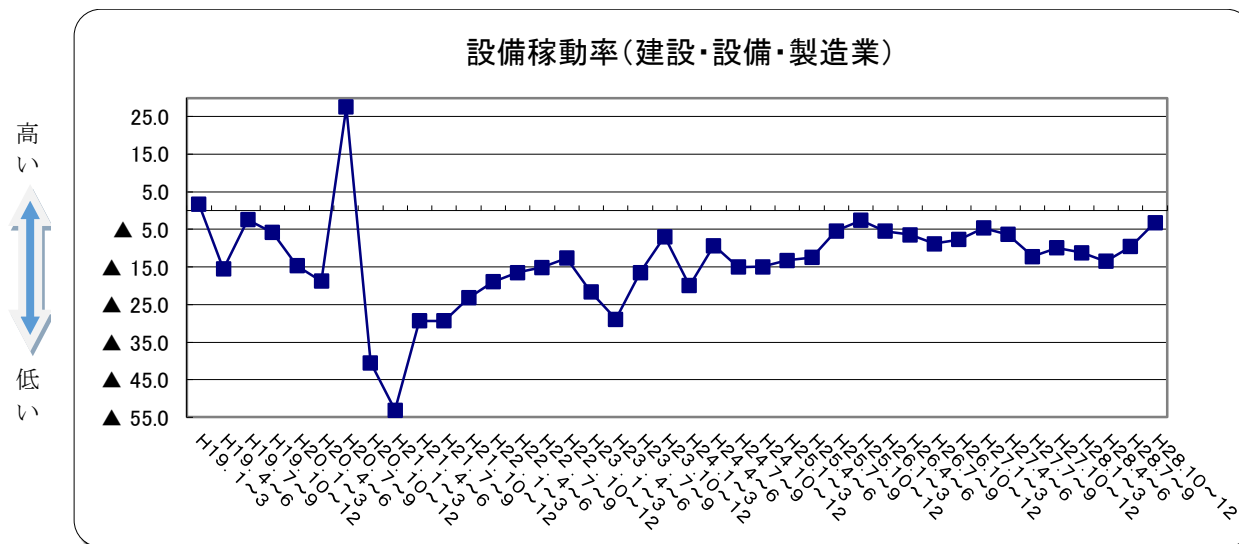


☆ 設備稼働率について（平成 28 年 10～12 月期実績） （建設・設備・製造業関係）

全業種 DI 指数▲3.2、前期比 6.4 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①その他の製造業 31.0 ポイント、②食品製造業 4.8 ポイント、③化学・プラスチック製造業 0.0 ポイント、④建設業▲8.6 ポイント、⑤機械・金属製造業▲14.6 ポイント

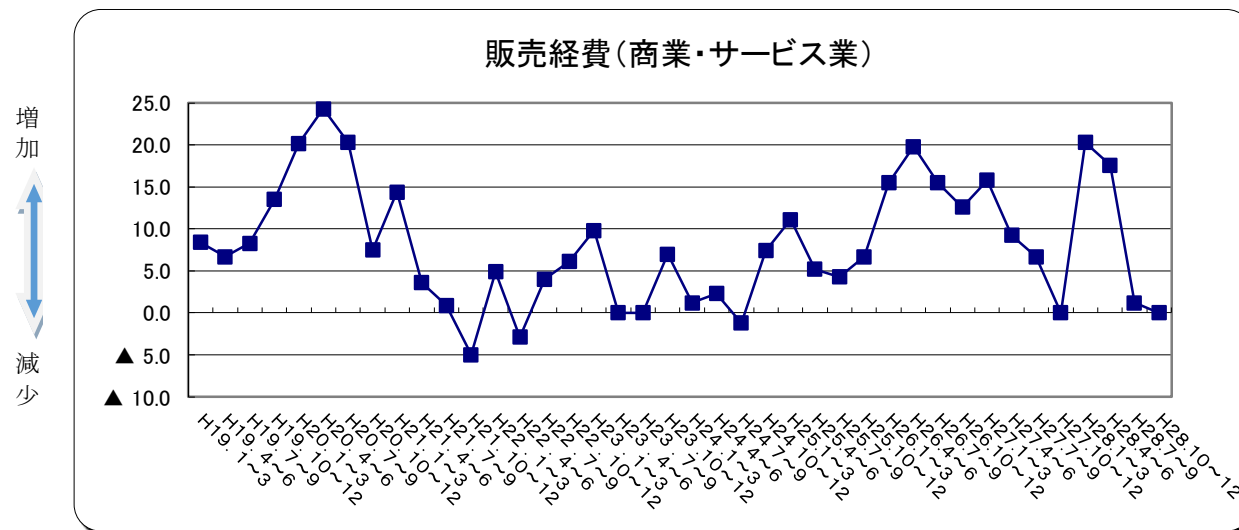


☆ 販売経費について（平成 28 年 10～12 月期実績） （商業・サービス業関係）

全業種 DI 指数 0.0、前期比 1.2 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①小売業（飲・食料品）42.9 ポイント、②卸売業 23.1 ポイント、③サービス業▲5.1 ポイント、④その他小売業（大型店含む）▲12.3 ポイント、⑤飲食店▲14.3 ポイント

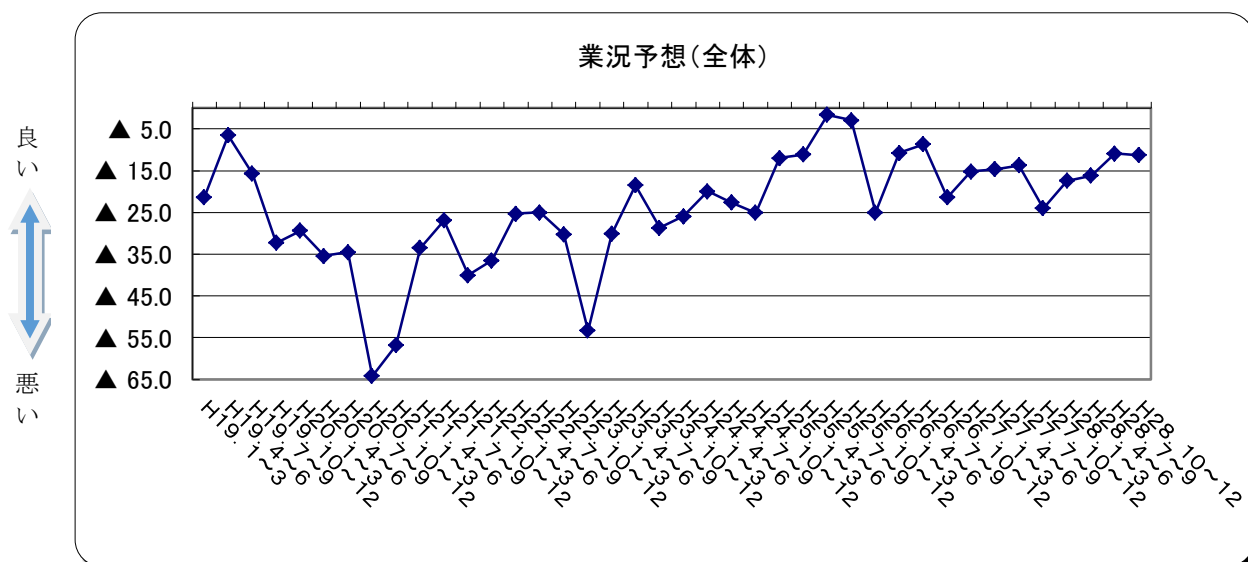


☆ 今後3ヶ月先（平成29年1～3月期の見通し）の業況について

全業種DI指数▲11.3、前期比0.4ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 31.0ポイント、②建設業及び食品製造業、卸売業 0.0ポイント、⑤飲食店▲7.7ポイント

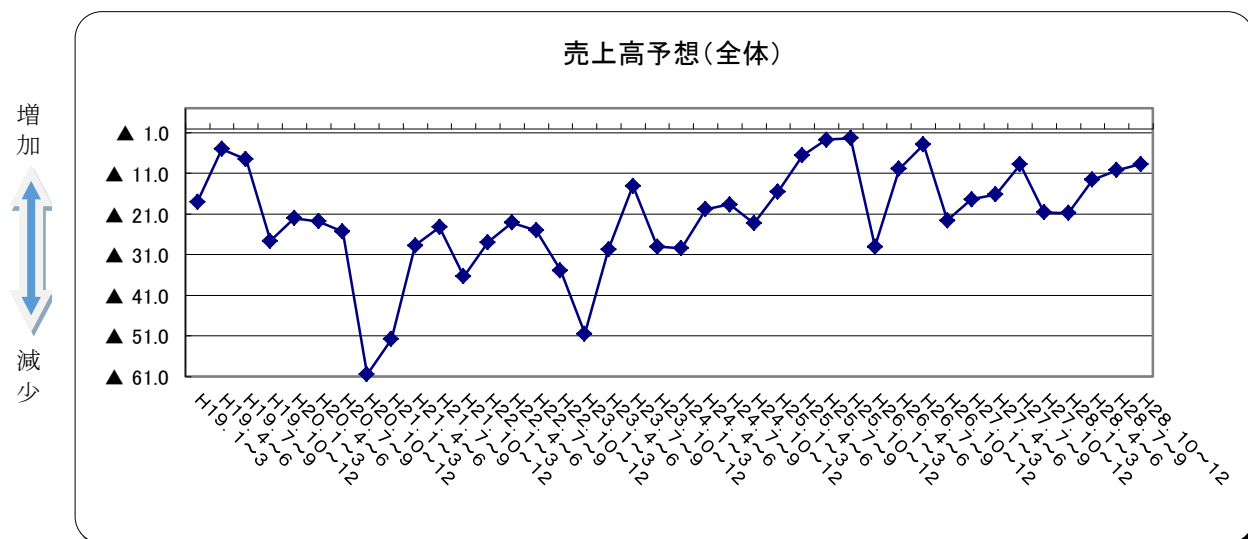


☆ 今後3ヶ月先（平成29年1～3月期の見通し）の売上高について

全業種DI指数▲8.7、前期比1.5ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 31.0ポイント、②飲食店 7.3ポイント、③化学・プラスチック製造業▲4.2ポイント、④食品製造業▲4.8ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）▲8.1ポイント



☆ 今後3ヶ月先（平成29年1～3月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

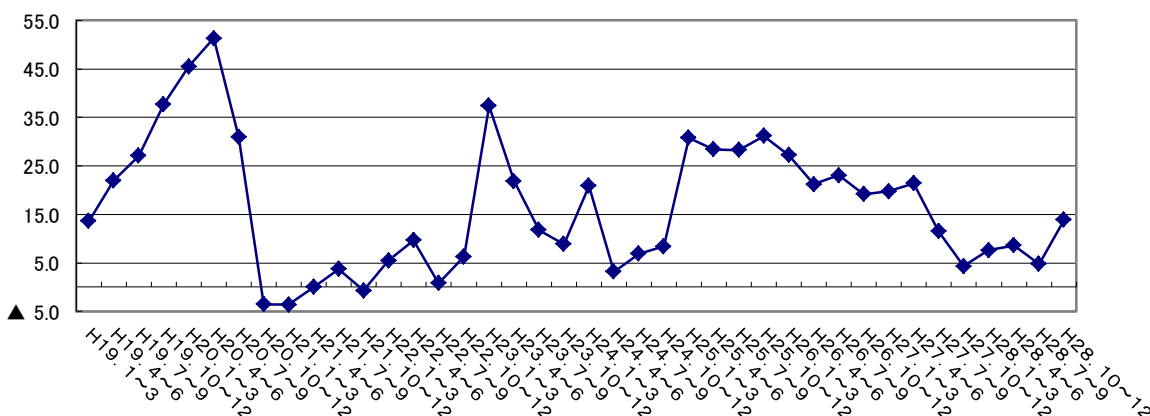
全業種 DI 指数 13.9、前期比 9.1 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

①繊維品製造業 56.8 ポイント、②その他の製造業 31.0 ポイント、③機械・金属製造業 22.0 ポイント、④小売業（飲・食料品）20.0 ポイント、⑤建設業 17.6 ポイント

上昇
↓
下落

原材料仕入価格・仕入価格予想(全体)



☆ 今後3ヶ月先（平成29年1～3月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

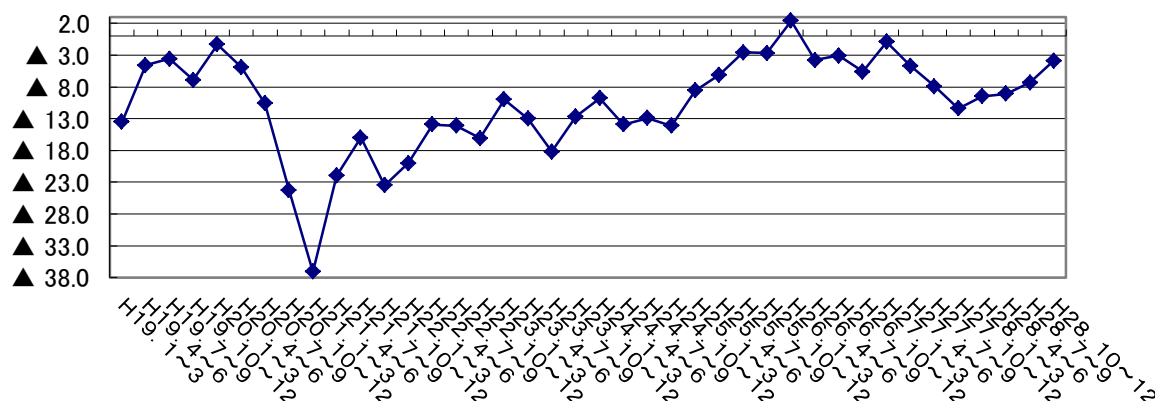
全業種 DI 指数▲3.9、前期比 3.4 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

①その他の製造業 20.0 ポイント、②建設業 17.6 ポイント、③設備業及び小売業（飲・食料品）、飲食店 0.0 ポイント

上昇
↓
下落

受注販売価格・商品販売価格予想(全体)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・現状で手いっぱいである。

設備工事業

- ・とても厳しく、今後の売上計画も見通せない。

繊維品製造業

- ・先行良いと見込んでいた所でしたが、現状維持が精一杯であった。
- ・為替の影響が出始めているので、仕入価格が今後心配です。

食品製造業

- ・年始めからの厄除大師の参拝客に期待します。街中の活性化にも期待しています。
- ・為替や株価など関係のない零細企業はずーと不況です。
- ・良くなる兆しが見当たりません。野菜高騰が落ち着いてきたと思ったら石油価格上昇など。
- ・アメリカの年明けからの動向が気になる。金利上昇の可能性も高く先は見えない手探りの状況が続くと思われる。
- ・円安が気になります。
- ・アルバイトを募集しても、集まらないです。昼食代や別途手当を付けても、思うように集まらず、計画生産ができず困っております。

機械・金属製品製造業

- ・三ヶ月先不透明。
- ・鉄鋼関連は12月～1月にかけて仕入値が大幅に上昇する。ユーザーへの価格転嫁に時間がかかり当面、流通は採算が悪化する。
- ・今年も早い物で後20日足らずです。景気低迷のまま年越しです。「アベノミクス」はどこに消えたのでしょうか？来年は明るいニュースを期待しています。
- ・新業界全体が低迷。28年度補正予算に期待。
- ・受注減少の傾向がみられる。
- ・海外(中国)の景気後退で影響あり？
- ・主要材料(鉄、銅)の値上りの影響で、収支面を圧迫しています。この先も材料費UP分を販売価格に転嫁することが出来なければ、収支面に大きく影響してくると思われます。

化学・プラスチック製品製造業

- ・現状では、仕掛けはあるが先の H29/2 月～以後の引合い、受注がない。景況感といつもずれが発生するが、先が不透明で危機感大。
- ・例年 12 月～3 月にかけては売上げ伸びていきますが、今年はその勢いがややにぶい様に感じています。
- ・円安による原料上昇懸念有。
- ・労働者不足の一言。
- ・今は従業員いません。注文数減少、小ロット数になってきました。
- ・家具インテリア関係は冬～春へ需要期になるので受注は増えると思う。しかし全体としての景況感は良くなり受注単価も上がらない。デフレの中の繁忙期という感じ。
- ・先の見えない状況が続いている。

卸売業

- ・政府の企業に対する賃上げ要求には疑問があります。中小の利益が改善されないと本当の賃上げは浸透しない。もっと他に優先してやるべきことがあると思います。

小売業（飲・食料品）

- ・アメリカ大統領・韓国の大統領の事で、世界規模の大変な年になりそうで心配です。
- ・夏から秋冬にかけて野菜の高騰が続いており家計のやりくりが大変との話を聞きます。その影響が嗜好品までお金が廻らないのかも、売上は落込んでいてこちらも大変だ。
- ・北海道の災害で野菜が値上がりして大変です。（じゃがいも、人参、玉ねぎ等）

その他の小売業（大型店含む）

- ・H29 年度の 1 月（福袋セール）予約販売の為、売上は上がるが 2～3 月にかけてはその反動が来ること間違いない！
- ・競合により売上高がマイナスでしたが、今後は現状維持出来る予測をしています。
- ・人手不足です。（アルバイトが集まりません）
- ・薬価改正による利益率は減少傾向にあり、今後も継続する事と思う。
- ・材料のメーカー品は、少しずつ値上げして高値維持している。我々は値上げなど出来る状況ではない。

飲食店

- ・正月で売上げが上がる見込みです。
- ・客数前年に比べると少しはいいのかなあ～と思う事はありますが、今現在高校生のご利用は延びてきている様に思いますが、もう少し市民の利用が多くなればとても楽になると思いますが日々悩みでもあります。
- ・喫茶店としての用途が解りづらいのか改善しなくては…。来年度はグループ、団体等向けに大型スクリーンが有るのでそれを PR して販促したい。
- ・まだ創業して間もないので、何とも言えません。
- ・6 月から 11 月まで売上が少なくなりましたが、ここに来て少しもちなおして来ました。

サービス業

- ・仕入の状況が良いので、今後半年は良い状況となる見通しです。数年間在庫不足で売上が減少し続けていたので、業種によっては我慢も大切だと感じています。
- ・建築計画は多いが、実行しない物件が多いので景気が良いとは思えません。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成28年10月～12月期
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施した。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511

※ この調査報告書は、「平成28年度伴走型小規模事業者支援推進事業」として取りまとめたものです。



～ 小規模事業者の持続的経営を積極的に支援します ～

佐野商工会議所